

# 東広島市都市交通マスタープランの改定について

改定の背景 ・「東広島市都市交通マスタープラン」の策定から10年が経過。少子高齢化に伴う人口減少、地球規模の環境問題の深刻化、デジタル技術の進展、新型コロナウイルスの世界的な流行など、本市を取り巻く状況は大きく変化している  
・「第五次東広島市総合計画（令和2年3月）」、「第3次東広島市都市計画マスタープラン（令和4年3月）」の策定により、新しいまちづくりに貢献する交通施策の方向性が必要である



人と環境にやさしく、誰もが自立して安全・快適・自由に移動でき、サービスを楽しむことができる未来都市

豊かで質の高い暮らしを支え、多様な価値や交流の創造に貢献する交通システムの構築

## <基盤づくり>

## <攻め>の視点

## <守り>の視点

“Well-being”に向けたこれからの交通システムの考え方  
これまでの「経済性」「効率性」を追求した「広域」「高速」「大量」といった従来の交通システムの構築に加えて  
「人を中心」とした交通・移動の選択肢を増やすなかで、「近距離」「低速」「小規模」といった視点を加えた重層的な交通システムを構築